

# 中河内二次医療圏における 自殺の現状

令和5年12月27日

中河内精神医療懇話会

1

## 1. 国の自殺対策

### 「自殺総合対策大綱」のポイント



- 自殺対策基本法が成立した平成18年と、コロナ禍以前の令和元年の自殺者数を比較すると男性は38%減、女性は35%減となっており、これまでの取組みに一定の効果があったと考えられる。(平成18年:32,155人→令和元年:20,169人)
- 自殺者数は依然として毎年2万人を超える水準で推移しており、男性が大きな割合を占める状況は続いているが、更にコロナ禍の影響で自殺の要因となる様々な問題が悪化したことなどにより、女性は2年連続の増加、小中高生は過去最多の水準となっていることから、今後5年間で取り組むべき施策を新たに位置づける。

#### 1 子ども・若者の自殺対策の更なる推進・強化

- ▶ 自殺等の事案について詳細な調査や分析をすすめ、自殺を防止する方策を検討。
- ▶ 子どもの自殺危機に対応していくチームとして学校、地域の支援者等が連携し自殺対策にあたることのできる仕組み等の構築。
- ▶ 命の大切さ・尊さ、SOSの出し方、精神疾患への正しい理解や適切な対応等を含めた教育の推進。
- ▶ 学校の長期休業時の自殺予防強化、タブレットの活用等による自殺リスクの把握やプッシュ型支援情報の発信。
- ▶ 令和5年4月に設立が予定されている「こども家庭庁」と連携し、子ども・若者の自殺対策を推進する体制を整備。

#### 2 女性に対する支援の強化

- ▶ 妊産婦への支援、コロナ禍で顕在化した課題を踏まえた女性の自殺対策を「当面の重点施策」に新たに位置づけて取組を強化。

#### 3 地域自殺対策の取組強化

- ▶ 地域の関係者のネットワーク構築や支援に必要な情報共有のためのプラットフォームづくりの支援。
- ▶ 地域自殺対策推進センターの機能強化。

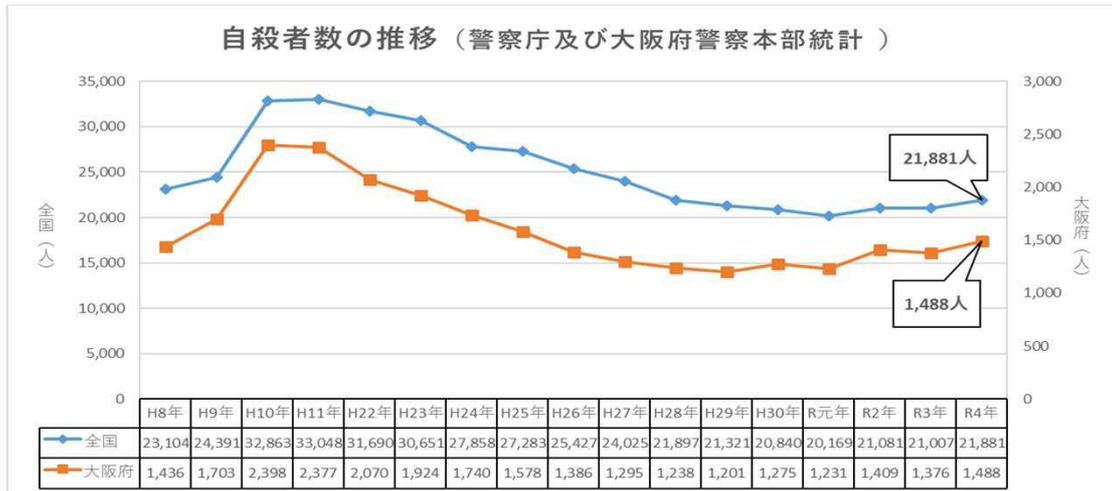
#### 4 総合的な自殺対策の更なる推進・強化

- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対策の推進。
- ▶ 国、地方公共団体、医療機関、民間団体等が一丸となって取り組んできた総合的な施策の更なる推進・強化。

- 孤独・孤立対策等との連携 ■ 自殺者や親族等の名譽等 ■ ゲートキーパー普及※ ■ SNS相談体制充実 ■ 精神科医療との連携
- 自殺未遂者支援 ■ 勤務問題 ■ 遺族支援 ■ 性的マイノリティ支援 ■ 誹謗中傷対策 ■ 自殺報道対策 ■ 調査研究 ■ 国際的情報発信など

※ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。 12

## 2. 大阪府の自殺の現状



警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>3</sup>

## 2. 大阪府の自殺の現状

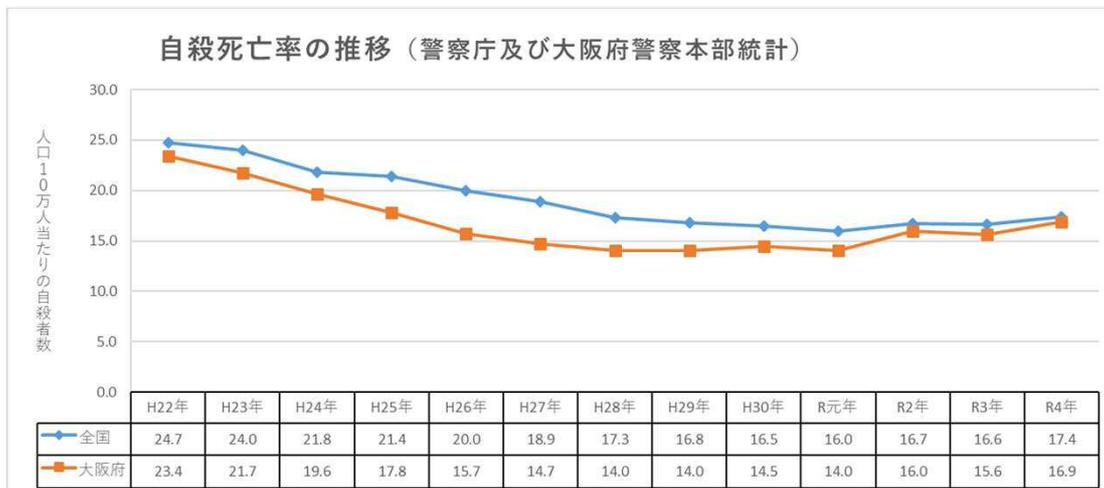
【年次比較 男女別】

（単位：人）

	総数	男	女
平成30年	1,275	814	461
令和元年	1,231	804	427
令和2年	1,409	881	528
令和3年	1,376	864	512
令和4年	1,488	976	512

警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>4</sup>

## 2. 大阪府の自殺の現状



警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>5</sup>

## 3. 中河内二次医療圏の自殺の現状

【自殺者の年次比較】

（単位：人）

		H30	R1	R2	R3	R4
八尾市	男	29	30	21	26	41
	女	8	20	19	9	14
柏原市	男	5	4	5	1	5
	女	5	2	4	6	2
東大阪市	男	42	50	49	45	56
	女	26	26	27	36	33
中河内	男	76	84	75	72	102
	女	39	48	50	51	49
	総数	115	132	125	123	151

警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>6</sup>

### 3. 中河内二次医療圏の自殺の現状

【令和4年自殺内訳 年齢(10歳階級)別】

(単位：人)

	総数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳
男	102	1	7	7	23	21	13	15	15	0
女	49	1	5	5	5	13	4	12	4	0
総数	151	2	12	12	28	34	17	27	19	0

警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>7</sup>

### 3. 中河内二次医療圏の自殺の現状

【令和4年自殺の内訳 同居人の有無別】

(単位：人)

	総数	あり	なし	不詳
男	102	57	45	0
女	49	30	19	0
総数	151	87	64	0

警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>8</sup>

### 3. 中河内二次医療圏の自殺の現状

【令和4年自殺の内訳 職業別】

(単位：人)

	総数	有職者	学生・生徒等	主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他の無職者	不詳
男	102	38	0	0	6	34	19	0
女	49	12	1	3	3	22	6	0
総数	151	51	2	3	9	60	26	0

警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>9</sup>

### 3. 中河内二次医療圏の自殺の現状

【令和4年自殺の内訳 場所別】

(単位：人)

	総数	自宅等	高層ビル	乗物	海(湖)・河川等	山	その他	不詳
男	102	69	6	3	0	1	18	0
女	49	36	2	0	0	0	9	0
総数	151	105	8	3	0	2	28	0

警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>10</sup>

### 3. 中河内二次医療圏の自殺の現状

【令和4年自殺の内訳 手段別】

(単位：人)

	総数	首つり	服毒	練炭等	飛降り	飛込み	その他	不詳
男	102	65	1	8	11	7	5	0
女	49	27	5	1	7	3	4	0
総数	151	98	6	9	18	10	10	0

警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>11</sup>

### 3. 中河内二次医療圏の自殺の現状

【令和4年自殺の内訳 時間帯別】

(単位：人)

	総数	0-2時	2-4時	4-6時	6-8時	8-10時	10-12時	12-14時	14-16時	16-18時	18-20時	20-22時	22-24時	不詳
男	102	8	5	4	1	9	7	11	7	7	7	8	6	22
女	49	5	4	2	6	4	6	2	2	3	3	2	5	5
総数	151	13	9	6	7	13	13	13	9	10	10	10	11	27

警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>12</sup>

### 3. 中河内二次医療圏の自殺の現状

【令和4年自殺の内訳 曜日別】

(単位：人)

	総数	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	不詳
男	102	16	12	18	8	18	11	17	2
女	49	12	8	5	10	4	5	5	0
総数	151	28	20	23	18	22	16	22	2

警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>13</sup>

### 3. 中河内二次医療圏の自殺の現状

【令和4年自殺の内訳 原因動機別(複数回答)】

(単位：人)

	総数	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳
男	156	25	68	33	15	5	0	9	1
女	68	14	40	3	2	2	1	5	1
総数	234	40	113	36	17	9	2	15	2

警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>14</sup>

### 3. 中河内二次医療圏の自殺の現状

【令和4年自殺の内訳 自殺未遂歴の有無別】

(単位：人)

	総数	あり	なし	不詳
男	102	24	71	2
女	49	16	31	0
総数	151	42	107	2

警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）<sup>15</sup>

### 4. 中河内二次医療圏の自殺対策

#### 内 容

- ・自殺対策計画の策定
  - ・警察署から自殺未遂の情報提供を受けた相談を希望する本人・家族に対して、関係機関と連携し相談支援を行う自殺未遂者相談支援事業の実施
  - ・市職員、関係機関・団体や市民向けのゲートキーパー※養成研修を開催
  - ・ストレスチェックやメンタルヘルスに関する講演会
- など

※自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る)を図ることができる人

16